

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2019年 第2週 （1月7日～1月13日）

## ★お知らせ

### ○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告は第1週の30.10から第2週は50.19と増加し2週連続で警報値を超えています。県全域から報告があり、幡多、安芸で急増、中央西、高知市、中央東で増加し、特に中央西、高知市、幡多、中央東、須崎で警報値を、安芸で注意報値を超えていますので注意して下さい。

学校等における集団発生の報告で安芸福祉保健所管内から学年閉鎖が1例報告されています。

高知県保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2019年第2週）

	今週		1週前		2週前		3週前		4週前		5週前		6週前	
	第2週		第1週		第52週		第51週		第50週		第49週		第48週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	50.19	△	30.10	△	11.23	○	4.92	-	1.15	-	0.71	-	0.21	-
安芸	14.50	○	6.50	-	6.25	-	0.75	-	0.50	-	0.00	-	0.00	-
中央東	46.00	△	27.36	○	15.91	○	9.27	-	0.91	-	0.82	-	0.18	-
高知市	60.94	△	38.00	△	13.19	○	5.63	-	1.50	-	1.25	-	0.38	-
中央西	66.20	△	39.40	△	8.00	-	3.60	-	1.40	-	0.60	-	0.20	-
須崎	38.75	△	34.75	△	12.25	○	3.00	-	1.00	-	0.50	-	0.00	-
幡多	48.00	△	21.75	○	4.88	-	1.38	-	1.00	-	0.00	-	0.13	-

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

学校等における集団発生

※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多
学年閉鎖	第2週	1					
	累計	1		1			
学級閉鎖	第2週						
	累計		1				

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザA型が2,325件、インフルエンザB型が7件に加えて、A型・B型同時感染1件の報告があります。

病原体検出情報では、臨床診断名「インフルエンザ」として搬入された検体から Influenza virus A H1pdm09 が1例、Influenza virus A H3 NT が4例、Rhinovirus が1例、臨床診断名「なし」として搬入された検体から Influenza virus A H3 NT が1例検出されています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2018年第48～52週）ではAH1pdm09の検出割合が最も多く72.2%、次いでAH3が27.0%、B（ビクトリア系統）が0.5%、B（系統不明）が0.3%の順でした。

インフルエンザの流行期に入っていますので、外出後の手洗いなどの感染予防を心がけ、症状がある方は、咳エチケットに心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も有効です。感染力は非常に強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。

＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

### ●厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/index.html)

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第1週の2.23から第2週では5.77と急増しています。高知市、中央西、須崎、幡多、安芸で急増、中央東で増加しています。

学校欠席者・感染症情報システム※でも30例の報告があることから注意が必要です。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス19例、細菌のカンピロバクター属菌や病原性大腸菌5例の報告があります。

病原体検出情報では臨床診断名「感染性胃腸炎」として搬入された検体から Norovirus GI NT が 1 例、Adenovirus 41 が 2 例、*Salmonella Enteritidis* が 1 例、臨床診断名「なし」として搬入された検体から Norovirus GII NT が 2 例されています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1 年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は 1 週間以内に回復しますが、症状消失後も 1 週間程度、長いときには 1 ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

#### <予防方法> 感染予防の基本は手洗いです

帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。

便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

#### ●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

#### ●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

### ○水痘（水ぼうそう）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告は第 1 週 0.37 から第 2 週は 0.47 と増加しています。安芸、中央東で急減していますが、須崎、幡多、中央西、高知市で急増しています。

水痘は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染、水疱や粘膜の排出物に接触することによる接触感染により感染します。

潜伏期間は 2～3 週間程度で、軽症で終生免疫（一度の感染で生涯、その感染症にはかからない）を得ることが大半ですが、成人では髄膜炎や脳炎などの合併症の頻度が高くなるなど、重症化することもあります。またウイルスが治癒後、体内に潜伏しており、何年も経て「帯状疱疹」として再発することもあります。

#### <予防方法> 予防接種が有効です

人から人へ感染していく病気のため、感染源の人との接触を避けることが重要です。手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

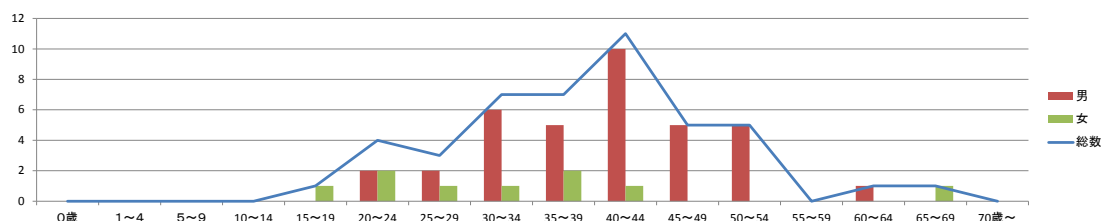
また、水痘にはワクチンがあり、水痘ワクチンによって感染を予防することが可能です。平成 26 年より定期予防接種となっていますので、対象の方はかかりつけ医にご相談ください。

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

### ○風しんの届出数が多い状態が継続しています

2018 年の全国風しん患者数の累積は 2,917 人のうち 96% (2,792 人) が成人で、30 歳から 50 歳代の男性を中心に男性が女性の 4.3 倍多くなっています（男性 2,364 人、女性 553 人）。また、2019 年第 1 週は 45 人となっており、98% (44 人) が成人で、昨年同様 30 歳から 50 歳代の男性を中心に（男性 36 人、女性 9 人）に報告数の多い状態が継続しています。

2019年第1週風しん報告数(年齢別・性別)



報告数の多い都道府県は、東京都、神奈川県、福岡県、茨城県、埼玉県以外に千葉県、富山県、愛知県、大阪府、山口県など首都圏以外の地域からも報告が認められています。

今後、感染が拡大する可能性がありますので、人混みを避けるなど今後さらなる注意・予防につとめましょう。

## 【風しんについて】

症 状 : 発熱、発疹、リンパ節の腫れ  
感 染 経 路 : 患者の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染および接触感染でヒトからヒトへ感染  
潜 伏 期 間 : 2~3 週間程度  
感染性のある期間: 発疹のでる 7 日前から発疹出現後 7 日くらいの間

## 【風しんを疑ったら】

発熱や発疹など風しんに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。

## 【予防方法】

- ・風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。  
風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1 歳児、小学校入学前 1 年間の幼児の方）
- ・風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠 20 週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りの方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

## 【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成 30 年 8 月 17 日付け 30 高健対第 859 号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- ① 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- ② 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しん Q&A2018 年 1 月 30 日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/)

●衛研ニュース第 20 号（高知県衛生研究所）30~50 歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

## ☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！



### 【日本紅斑熱・SFTS】

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で 3~4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かい春から秋にかけて盛んに活動し、この期間に多くの患者発生がみられますが、冬でも発生例が報告されています。寒い季節ですが、屋外で活動される場合はマダニ対策を心がけましょう（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

### 【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

### 【つつが虫病】

「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどマダニと同様の対策をして注意しましょう。

## 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日~数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

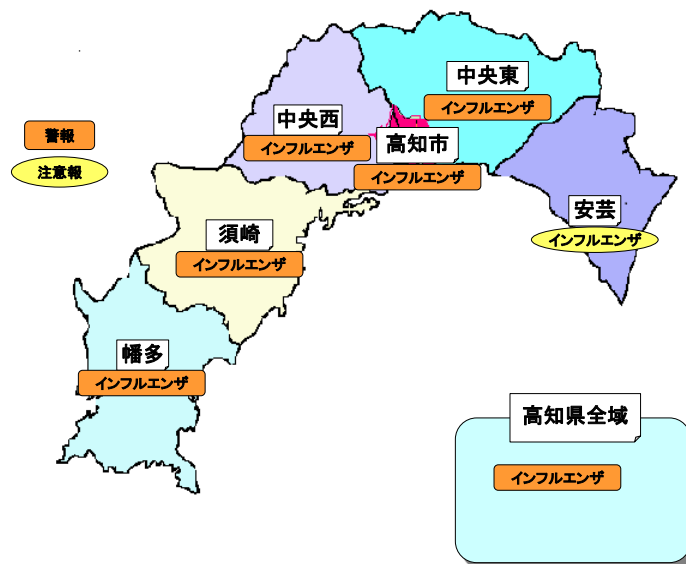
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑ : 急増   
 ↗ : 増加   
 → : 横ばい   
 ↘ : 減少   
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	<span style="color:magenta">↗</span>	50.19	幡多、安芸で急増、県全域、中央西、高知市、中央東で増加し、県全域、中央西、高知市、幡多、中央東、須崎では警報値を、安芸では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	<span style="color:red">↑</span>	5.77	県全域、高知市、中央西、須崎、幡多、安芸で急増、中央東では増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color:red">↑</span>	1.57	中央東、安芸で急減していますが、県全域、高知市、幡多、中央西、須崎では急増しています。
水痘	<span style="color:magenta">↗</span>	0.47	安芸、中央東で急減していますが、須崎、幡多、中央西、高知市で急増、県全域では増加しています。
伝染性紅斑	<span style="color:red">↑</span>	0.47	安芸で急減していますが、県全域、中央西、高知市で急増、中央東で増加しています。

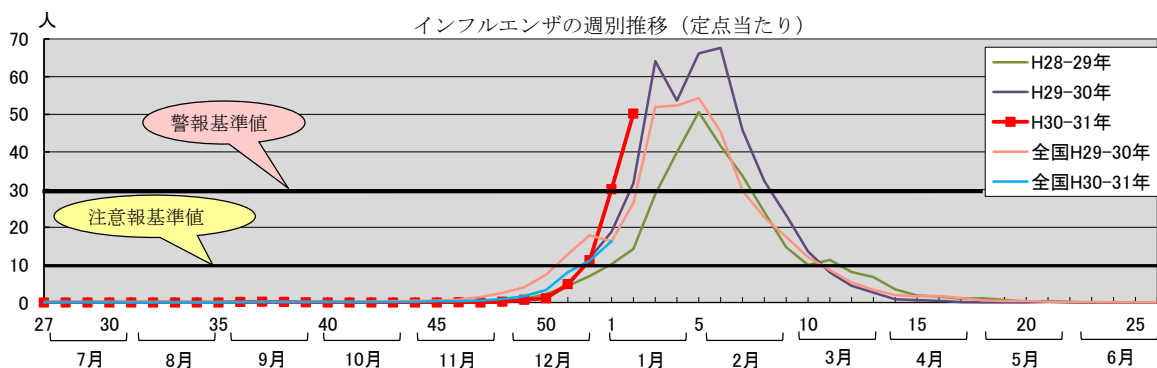
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

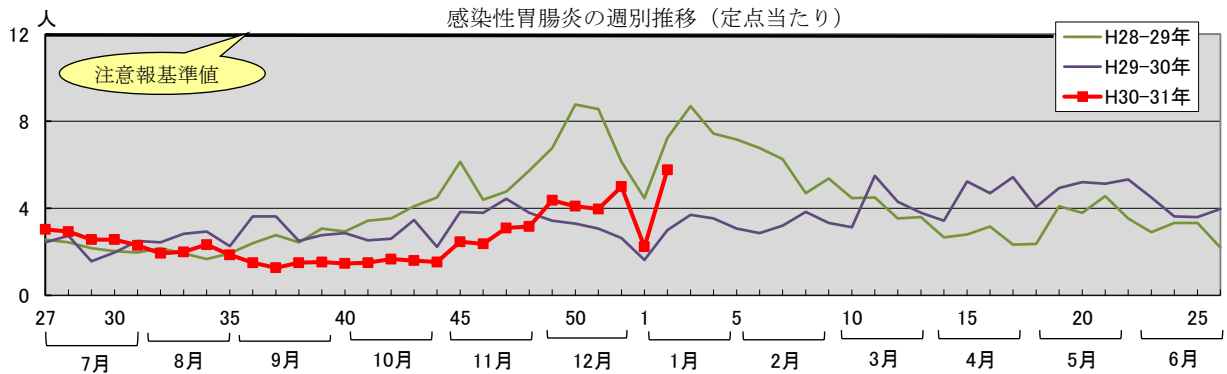
○インフルエンザ 第2週：50.19（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 50.19（前週：30.10）と増加しています。幡多 48.00（前週：21.75）  
 安芸 14.50（前週：6.50）で急増、中央西 66.20（前週：39.40）高知市 60.94（前週：38.00）中央東 46.00  
 （前週：27.36）で増加し、県全域、中央西、高知市、幡多、中央東、須崎 38.75（前週：34.75）で警報値  
 を、安芸では注意報値を超えています。



○**感染性胃腸炎 第2週：5.77（注意報値：12.00 警報値：20.00）**

定点医療機関からの報告数は定点当たり 5.77（前週：2.23）と急増しています。高知市 7.00（先週：2.55）中央西 6.67（前週：0.33）須崎 6.50（前週：1.00）幡多 4.80（前週：1.80）安芸 2.50（前週：0.00）で急増、中央東 4.86（前週：3.86）で増加しています。



★**病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
2	流行性耳下腺炎	37℃,	15	男	須崎	Epstein-Barr virus
2	インフルエンザ	39℃,	12	女	中央東	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	40℃,咳嗽,上気道炎,	4	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
2	インフルエンザ	40℃,	1	女	中央東	Influenza virus A H3 NT
2	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	10	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
2	インフルエンザ	38℃,咳嗽,	2	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
2	—	—	82	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
2	感染性胃腸炎	36℃,下痢,嘔吐,嘔気,	6	男	須崎	Norovirus GI NT
2	—	下痢,嘔吐,嘔気,	1	男	高知市	Norovirus GII NT
2	—	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	5	女	須崎	Norovirus GII NT
2	R S ウイルス感染症	38℃,咳嗽,上気道炎,下気道炎,気管支炎,	1ヶ月	女	中央東	Respiratory syncytial virus
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,上気道炎,	2	男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
52	感染性胃腸炎	下痢,	1	女	高知市	Adenovirus 41
52	感染性胃腸炎	36℃,下痢,嘔吐,嘔気,腹痛,	1	女	須崎	Adenovirus 41
52	—	39℃,	0ヶ月	男	高知市	Rhinovirus
52	インフルエンザ	39℃,	12	男	須崎	Rhinovirus
52	感染性胃腸炎	下痢,	2	男	安芸	<i>Salmonella Enteritidis</i>

★**全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	4	0～4歳代 女	高知市
		1		20歳代 女	
		1		40歳代 男	中央東
		1		80歳代 女	
5類	百日咳	1	3	5～9歳 女	須崎
		1		10～14歳 女	高知市
		1		40歳代 男	中央東



★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (2 歳男、3 歳男)
中央東	野市中央病院小児科	インフルエンザ 13 例 (全て A 型、内ワクチン 2 回済み 2 人: 4 歳女、9 歳女)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 3 例 (1 ヶ月女、3 ヶ月男 2 人) 病原性大腸菌 3 例 (0 ヶ月女、1 歳男、10 歳女) ノロウイルス 2 例 (1 歳女、10 歳女) インフルエンザ A 型 10 例
	けら小児科・アレルギー科	ノロウイルス腸炎 2 例 (1 歳 2 人) カンピロバクター腸炎 2 例 (7 歳、8 歳) アデノウイルス咽頭炎 1 例 (8 歳)
	細木病院小児科	ノロ陽性 8 例 (1 歳 3 ヶ月男、1 歳男 3 人、1 歳女、2 歳男女、5 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 47 例 (ワクチン接種済 6 例) 溶連菌感染症 5 例 伝染性紅斑 1 例 (9 歳女) 手足口病 2 例 胃腸炎が小児～成人まで流行している
中央西	石黒小児科	インフルエンザ A 型 43 例 インフルエンザ B 型 1 例
	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A 型 8 例 (1 歳女: 県外、1 歳男、4 才男: 室戸市、 2 歳女、7 歳女: 高知市、9 歳女: 仁淀川町 13 歳男: 須崎市、15 歳男: 安和) 感染性胃腸炎 2 例 (1 歳女、3 歳男)
	日高クリニック	ヘルペス性歯肉口内炎 1 例 (14 歳男) 帯状疱疹 1 例 (73 歳男)
須崎	もりはた小児科	感染性胃腸炎 (便ノロ陽性) 7 例 (1 歳 5 人、2 歳、3 歳) 百日咳 1 例 (Lamp 法陽性) 1 例 (7 歳女) 水痘 2 例 (1 例はワクチン 2 回済み)
幡多	こいけクリニック	インフルエンザ A 型 B 型同時発症 1 例 (9 歳男)
	さたけクリニック	水痘 3 例 (6 歳女: ワクチン未接種 5 歳女、7 歳女: ワクチン 1 回接種) インフルエンザ 43 例 (全て A 型)

★全国情報

第51号 (12月17日～12月23日)

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核349例
- 3類感染症: 細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症20例
- 4類感染症: E型肝炎5例、A型肝炎8例、つつが虫病17例、デング熱3例、マラリア2例、レジオネラ症38例
- 5類感染症: アメーバ赤痢8例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症38例  
急性弛緩性麻痺2例、急性脳炎10例、クリプトスポリジウム症1例、  
クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症11例、  
後天性免疫不全症候群12例、侵襲性インフルエンザ菌感染症9例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例  
侵襲性肺炎球菌感染症42例、水痘 (入院例に限る) 6例、梅毒79例  
播種性クリプトコックス症4例、破傷風1例、百日咳250例、風しん81例、麻しん2例
- 削除予定: 風しん3例
- 報告遅れ: パラチフス1例、つつが虫病7例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症3例  
レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎2例  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、水痘 (入院例に限る) 6例、梅毒44例  
播種性クリプトコックス症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、百日咳131例  
風しん10例、麻しん1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第2週 平成30年12月31日(月)～平成31年1月13日(日)

高知県衛生研究所

定点名 疾病名	保健所	第2週						計	前週	全国(1週)	高知県(2週末累計)		全国(1週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～H31/1/13	H30/12/31～H31/1/6		
インフルエンザ	インフルエンザ	58	506	975	331	155	384	2,409 ( 50.19)	1,445 ( 30.10)	78,116 ( 16.30)	3,854 ( 80.29)	78,116 ( 16.30)		
小児科	咽頭結核熱			3				3 ( 0.10)	8 ( 0.27)	728 ( 0.24)	11 ( 0.37)	728 ( 0.24)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	36	2	1	6	47 ( 1.57)	19 ( 0.63)	2,481 ( 0.82)	66 ( 2.20)	2,481 ( 0.82)		
	感染性胃腸炎	5	34	77	20	13	24	173 ( 5.77)	67 ( 2.23)	9,560 ( 3.15)	240 ( 8.00)	9,560 ( 3.15)		
	水痘			6	2	2	4	14 ( 0.47)	11 ( 0.37)	1,331 ( 0.44)	25 ( 0.83)	1,331 ( 0.44)		
	手足口病		2	2				4 ( 0.13)	4 ( 0.13)	332 ( 0.11)	8 ( 0.27)	332 ( 0.11)		
	伝染性紅斑		5	7	2			14 ( 0.47)	6 ( 0.20)	1,167 ( 0.38)	20 ( 0.67)	1,167 ( 0.38)		
	突発性発疹		2	3			2	7 ( 0.23)	3 ( 0.10)	471 ( 0.16)	10 ( 0.33)	471 ( 0.16)		
	ヘルパンギーナ							( )	( )	32 ( 0.01)	( )	32 ( 0.01)		
	流行性耳下腺炎							( )	( )	195 ( 0.06)	( )	195 ( 0.06)		
	RSウイルス感染症			7				7 ( 0.23)	1 ( 0.03)	909 ( 0.30)	8 ( 0.27)	909 ( 0.30)		
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	10 ( 0.01)	( )	10 ( 0.01)		
	流行性角結膜炎			3				3 ( 1.00)	( )	362 ( 0.54)	3 ( 1.00)	362 ( 0.54)		
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	6 ( 0.01)	( )	6 ( 0.01)		
	無菌性髄膜炎							( )	( )	6 ( 0.01)	( )	6 ( 0.01)		
	マイコプラズマ肺炎			2				2 ( 0.25)	1 ( 0.13)	74 ( 0.15)	3 ( 0.38)	74 ( 0.15)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( )	( )	( )	( )		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							( )	2 ( 0.25)	26 ( 0.05)	2 ( 0.25)	26 ( 0.05)		
計 (小児科定点当たり人数)	63 ( 17.00)	551 ( 52.44)	1,121 ( 73.76)	357 ( 74.88)	171 ( 46.75)	420 ( 55.20)	2,683 ( 59.16)			95,806	4,250 ( 93.23)	95,806		
前週 (小児科定点当たり人数)	35 ( 11.00)	343 ( 33.07)	660 ( 42.63)	199 ( 40.06)	141 ( 35.75)	189 ( 24.75)		1,567 ( 34.06)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名 疾病名	保健所	第2週						計	前週	全国(1週)	高知県(2週末累計)		全国(1週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～H31/1/13	H30/12/31～H31/1/6		
インフルエンザ	インフルエンザ	14.50	46.00	60.94	66.20	38.75	48.00	50.19	30.10	16.30	80.29	16.30		
小児科	咽頭結核熱			0.27				0.10	0.27	0.24	0.37	0.24		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	3.27	0.67	0.50	1.20	1.57	0.63	0.82	2.20	0.82		
	感染性胃腸炎	2.50	4.86	7.00	6.67	6.50	4.80	5.77	2.23	3.15	8.00	3.15		
	水痘			0.55	0.67	1.00	0.80	0.47	0.37	0.44	0.83	0.44		
	手足口病		0.29	0.18				0.13	0.13	0.11	0.27	0.11		
	伝染性紅斑		0.71	0.64	0.67			0.47	0.20	0.38	0.67	0.38		
	突発性発疹		0.29	0.27			0.40	0.23	0.10	0.16	0.33	0.16		
	ヘルパンギーナ									0.01		0.01		
	流行性耳下腺炎									0.06		0.06		
	RSウイルス感染症			0.64				0.23	0.03	0.30	0.27	0.30		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.01		
	流行性角結膜炎			3.00				1.00		0.54	1.00	0.54		
基幹	細菌性髄膜炎									0.01		0.01		
	無菌性髄膜炎									0.01		0.01		
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.25	0.13	0.15	0.38	0.15		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)													
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)								0.25	0.05	0.25	0.05		
計 (小児科定点当たり人数)	17.00	52.44	73.76	74.88	46.75	55.20	59.16				93.23			
前週 (小児科定点当たり人数)	11.00	33.07	42.63	40.06	35.75	24.75		34.06						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2019年1月15日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。





病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)：平成 31 年第 2 週  
 グラフダウンロード：[第 2 週](#)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2019年 第2週)

